

2021年4月30日

世田谷区長 保坂 展人様  
世田谷保健所 辻 佳織様

日本共産党世田谷地区委員会  
日本共産党世田谷区議団

## <新型コロナウイルスワクチン接種に関する申し入れ>

感染拡大から区民の命と暮らしを守るため、区長を先頭に、職員の方々が全力で職務を遂行されていることに、心から敬意を表します。

4月28日、75歳以上の区民のワクチン予約受付が始まりました。高齢者の方々からは「ワクチンコールもネットもつながらず、予約が取れない」等多くの苦情と不安の声が寄せられています。

「初日から電話をかけ続け2日目。もう諦めようか」「ネットでアクセスし続け、ようやく29日の夕方にとれた」「そもそも75歳以上の区民は約10万人なのに、なんで電話回線が70だけなのか。こういう事態を想定していなかったのか」「携帯は持っているが、電話専用で、QRコードを読み込むとかネット操作ができない。高齢者のことを分かっていない」「区のお知らせ特集号を読んでも、解読できなかった。説明や予約等高齢者には手助けが必要」「ワクチンコールは、20秒で10円かかるが、質問等していたら、300円も取られた。高齢者は予約を取るのも時間がかかる。無料にしてほしい」等々です。

区はこの間、75歳以上の区民全てに行き渡る10.5万人分（2回分）のワクチンを確保し、まちづくりセンター・出張所等でワクチンに関する情報の掲示等がされています。しかし、それらの情報が多くの区民、特にデジタル弱者の高齢者に届いていません。一方で、日々テレビ等で変異株や感染拡大また「ワクチン予約殺到」のニュースにさらされ、不安や焦りが増大しています。

更に、接種希望があっても、心身の体調不良、介護を抱えている、また接種会場まで、「自転車に乗れない」等の理由で交通手段が無い、更に精神疾患や引きこもり等の事情で、「接種会場に行けない」と、家族や当事者（高齢者・障害者）から悲鳴も寄せられています。

区はこの間、国や都の不十分なワクチン分配や情報提供等の状況がある中、接種対象区民約80万人への迅速かつ確実な接種実現のため、医師会や病院等と共にご尽力されています。

ゴールデンウィーク明けには、前期高齢者約8万7千人に接種券配布・予約開始予定です。様子見をしている後期高齢者もあり、更なる混雑が予想されます。その後、高齢者施設等職員、基礎疾患を持つ区民、60歳から64歳の区民合計約10万人の接種券配布予定となっています。同様の混乱が起きないように、以下申し入れます。

## 記

### 1、ワクチンコール・ネット予約等について

- ・電話やネットが繋がらないことによる不安と負担を払拭する必要がある。年齢等で細分化する等接種券配布や予約開始のスケジュールや方法を見直すこと。
- ・ワクチンコールの回線数の大幅拡充及びネットがアクセスしやすいよう改善すること
- ・ワクチンコールのフリーダイヤル化を検討すること
- ・予約サイトの利用方法・操作手順がよくわからない等声が聞かれ、画面を開けば、誰もが操作できるように改善すること
- ・FAXでの予約枠を増やすこと

### 2、情報提供・広報強化について

- ・現在のホームページ・SNS・まちづくりセンター等の掲示では不十分であり、駅や学校、商店街などの掲示板活用、町会回覧板、図書館やコンビニ、スーパーへの掲示等区民に広く必要な情報が届くよう、様々な機関との連携や媒体を活用して、情報周知を徹底すること
- ・臨時の区のお知らせ特集号（全戸配布）の随時発行など検討すること
- ・情報理解や予約に支援が必要な方々に対して、個別に且つ丁寧に対応できるよう、専用のダイヤルや支援体制を確立すること

### 3、ワクチン接種について

- ・早急かつ最優先に医療従事者の接種を進めること
- ・精神疾患や引きこもり等心身の体調不良に伴う自宅療養者、家族介護で家を空けられない等の事情で、接種会場に行けない区民への、往診接種の体制を早急に確立すること
- ・かかりつけ医や病院での接種ができるよう、関係機関との協議を進め、必要な支援を行うこと

### 4、その他

- ・国や都に対し、ワクチン接種に関する自治体負担は相当であり、必要な財政支援や迅速な情報提供等区長会などを通じ要望すること

以上